

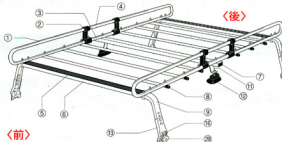
この度は、ロッキールーフキャリア「STR-333MH」をお買い求めいただきましてありがとうございます。常に安全にご使用していただくために、「取扱い説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、「取扱い説明書」はご使用ごとに必要となりますので大切に保管しておいてください。  
**なお、販売店にて本製品を取り付けられましたら、「取扱い説明書」を必ずお客様にお渡しください。**  
 製品(組立て・取り付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は当社までお問い合わせください。誤った組立て、取り付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

## 組立て・取り付け前の注意

- △注意** 本製品はミニキャブ(U60系)・クリッパー(U70系)ハイルーフ車専用キャリアです。その他の車種には絶対に取り付けねてください。
- △注意** キャリアの組立て時は、**滑り止め付軍手等**を使用してください。
- △注意** キャリアの取り付け・取り外し時は、**必ず2人以上**で行なってください。  
→車の屋根の傷やへこみ、キャリアの破損の防止になります。
- △注意** キャリアの取り付け、取り外し及び荷物の積降ろしは、平坦な場所で十分なスペースを確保して行なってください。  
車両は、エンジンを停止し、ギアをローギアまたはパーキングポジションにしてサイドブレーキを確実にかけてください。
- △注意** 本製品の改造は絶対に行なわないでください。  
 [例] ● 荷受け部の全面に板等を敷く  
 ● 部品類の穴あけ・溶接等  
 ● 本製品以外の部品による、組立て及び部品交換等  
**看板等の取り付けによる事故の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。**

## 構成パーツ

組立て前には、必ず構成パーツをご確認下さい。  
 万一、欠品がある場合は、お買い求めの販売店又は当社までお問い合わせください。

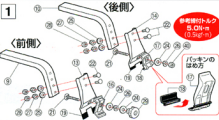


NO.	部品名称	使用数	NO.	部品名称	使用数	NO.	部品名称	使用数	NO.	部品名称	使用数
①	U型サイドフレーム	4	⑪	脚ステー(センター)	2	⑳	角根ボルト M8	4	㉑	丸ネジセット M5	2
②	コネクタ	4	⑫	屋根ゴム	2	㉒	角根ボルト M6	8	㉓	六角ボルトセット M6	2
③	パイプ(穴・有)	2	⑬	インナークランプ(前)	2	㉔	丸ネジ M6	12	㉕	保護シート	2
④	パイプ(穴・無)	2	⑭	インナークランプ(後)	2	㉖	平座金 M8	6	㉗	安全キャップ	4
⑤	ラバー	2	⑮	インナーフック	2	㉘	平座金 M6	10	㉙	ウェルナット	2
⑥	フレームチャンネル	2	⑯	アウタークランプ(前)	2	㉚	バネ座金 M8	4	㉛	ナイロンワッシャー	22
⑦	フレームパイプ	1	⑰	アウタークランプ(後)	2	㉜	バネ座金 M6	30	㉝	ゴムパッキン	12
⑧	キャップ付パイプ	6	⑱	パッキン	2	㉞	六角ナット M6	30	㉟	タッピングビス5ミリ	2
⑨	脚ステー(前・M刻印)	2	㉑	塩ビシート(長・短)	各4	㉟	締付ノブ	2	㊱	バネ座金 M5	2
⑩	脚ステー(後・B刻印)	2	㉒	Uボルト	4	㊲	六角ボルト M6	2	㊳	六角ナット M8	2

# 組立方法

## 注意

キャリアの組立時にラチェットレンチを使用する場合は締め過ぎによるボルトやナットの破損の恐れがある為締め過ぎには十分に注意して締付けてください。締付けの目安はパネ座金の口が開いてから90度程度回るくらいです。



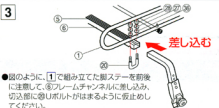
- 脚ステー（前・M刻印）の4つ穴の下側2つに⑩インナーランプ（前）を六角ボルトM6にて組み付け、⑨アウターランプ（前）を仮組みします。（前側の図参照）
- 脚ステー（後・B刻印）の4つ穴の下側2つに⑩インナーランプ（後）を六角ボルトM6にて組み付け、⑨アウターランプ（後）に⑪パッキンをはめて仮組みします。（後側の図参照）
- ⑩インナーランプに⑫短ビスシート（長）、⑩インナーランプに⑬短ビスシート（短）の離型紙をはがして貼ってください。



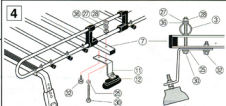
- 図-Aのように、②コネクターに③④パイプ（穴・有/穴・無）を組み立て、②コネクターの上・下に注意して、①U型サイドフレームを両側より差し込み、⑧キャップ付パイプを図-Bのように仮組みします。
- ⑧キャップ付パイプと②コネクターが当たるところまで再度①U型サイドフレームを差し込み、②コネクターに付いている六角ボルトと⑨丸ネジM6をしっかりと締め付けます。

## 注意

締め過ぎによる⑩角ボルトM6の破損の恐れがある為、締付けには十分に気をつけてください。締付けの目安はスリキで⑦パネ座金M6の口が開いてから90度程度回るくらいにしてください。



- 図のように、①で組み立てた脚ステーを前後に注意して、⑥フレームチャンネルに差し込み、切込部に⑩Uボルトがはまるように仮止めしてください。

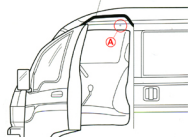


- 図のように、⑩脚ステー（センター）と⑫屋根ゴムを組み付け⑩脚ステー（センター）を⑦フレームパイプに⑭六角ボルトセットM6、⑯六角ボルトM6にて仮止めし、コネクターの③パイプ（穴・有）に組付けます。

# 取付方法①

## ウェザーストリップゴム

フロントドアを開けて、左図裏の穴の有無を確認してから作業を行ってください。



## 注意

- ウェザーストリップゴムのリップ部分のみ引っ張ると、切れてしまう場合があります。



- 1 ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。（注意図参照）
- 2 キャビンの裏にある取付位置（ポンチマーク）にドリルでφ4.0の穴をあけます。（左右各1箇所）
- 3 ⑩インナーフックを取付位置に押し込み、⑩インナーフックをしっかりと押さえつけながら、⑯丸ネジセットM5でしっかりと締め付け、ウェザーストリップゴムを元のように取付けます。



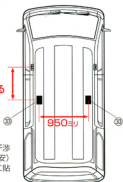
- 1 ウェザーストリップゴムの全体を確実につかんで図のように外します。（注意図参照）
- 2 キャビンの裏にある取付位置（ポンチマーク）にドリルでφ4.0の穴をあけます。（左右各1箇所）
- 3 必ず下穴をあける場合はφ4.0を守ってください。φ4.1以上になりますと、締付効果がなくなってしまうリスクや外れが発生します。
- 3 ⑩インナーフックを位置合わせし、⑯パネ座金M5、⑯⑭タッピングビス5ミリにて締付けます。
- 締付けの際は締め過ぎによる⑯⑭タッピングビスの空回りや破損の恐れがある為、慎重に行ってください。締付けの目安は⑯パネ座金M5の口が開いている程度まで締付けてください。

ウェザーストリップゴムを先に戻すとインナーフック部分がくまらみやすくなりますが雨も等はあります。

## 取付方法②

1

インナーフックより  
855ミリを目安に貼る



- ⑫屋根ゴムがルーフに干渉する所(右図の位置を目安)に⑭保護シートを左右に貼り付けます。

2

左右均等にする

**重要**

内側に寄せる。

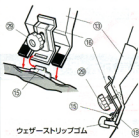


- ルーフにキャリアを載せ、⑬⑭インナークランプをレインレール内側に寄せます。左右の脚ステーが左右均等になるようにして、⑮⑯ボルトでしっかりと締め付けます。その時、⑮⑯脚ステーの先端上面部が⑰フレームチャンネルに密着するようにし、⑬⑭インナークランプがレインレールの内側にあるか確認してください。

**注意**

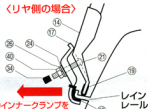
この作業を怠ると異常音の発生やキャリアの強度不足による破損の原因になる為必ず行ってください。

3 <フロント側の場合>



- フロント脚の⑳締付ノブを締め、㉑アウトークランプ(前)を引き出し、㉒インナーフックに引っ掛け、㉓締付ノブを締め付けます。

4 <リヤ側の場合>



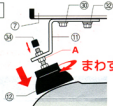
⑬インナークランプを  
手前に引き寄せる。

- リヤ脚の㉔六角ナットM8を締め、㉕アウトークランプ(後)を引き出し、レインレールに引っ掛け、⑬インナークランプを手前に引き寄せながら㉔六角ナットM8で締め付け、ボルトの先端に㉖安全キャップをはめます。

**注意**

この時、六角ナットM8の締付け目安は㉖バネ座金の口が閉じる程度にしてください。

5



- ⑫屋根ゴムのまわしてルーフに密着させ、⑫屋根ゴムに付いているAナットを締め上げ、⑫屋根ゴムの固定します。㉗六角ボルトM6、㉘六角ボルトセットM6をしっかりと締めつけ、㉙安全キャップを⑫屋根ゴムのボルトに取り付けます。

- 最後にキャリアを前後左右に揺すり、ガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は、再度取り付け直してください。

## 積載物と積載物の制限について

**注意**

本製品は荷物用の積載キャリアです。  
次のものは、積載しないでください。

〔 スキー板・ストック、スノーボード、サーフボード、自転車、コンテナ、  
ウィンドサーフボード・ポール・boom、ボート、カヌー、カヤック等 〕

**注意**

最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。  
使用状況によっては、60kg未満でも屋根や雨ドイの変形及び、キャリアが破損する場合があります。また過熱な使用を行うことにより積載能力は変化し低下いたします。

**注意**

積載物の大きさの制限は、製品により異なります。  
制限を超える大きさのものは、絶対に積載しないでください。

■積載物の大きさの制限

(単位:mm)

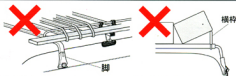
長さ×幅×高さ

2,900×900×600

# 積載方法について

## △注意

キャリアの脚部や横棒の上に荷物を積載しないでください。  
→ 積載物が確実に固定できないため、脱落事故を起こします。



## △注意

積載物をキャリアに積載の際は「脚部」に手を掛けたり、捕まったりして積載物を積載しないでください。また、どうしても補助的に脚部に捕まっても積載物を積載する際は、脚部を手前に引っ張らず体重を掛けないようにゆっくりと積載してください。  
→ 脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し、破損及び、脱落の原因になります。



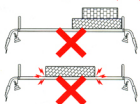
## △注意

積載物をキャリアに固定の際は「脚部」を利用してロープ等で固定しないでください。  
→ 脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し、破損及び、脱落の原因になります。



## △注意

積載物の重量の配分は、どちらか(左右)に片寄らないようにして、できるだけ均等に平坦に積載してください。  
→ どちらか(左右)に積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリア本体にも変形的な力が掛かり、破損や脱落、事故の原因になります。



## △注意

積載物をキャリアに載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃が掛からないように、ゆっくりと行ってください。  
→ 強い衝撃(集中的加重)がかかることにより、キャリアの破損及び、脱落の原因になります。

## 脱落事故防止のために

### 〈走行前〉

## △注意

走行前には、積載物が確実に固定されていることを確かめてください。  
→ 積載物がガタつき、脱落事故を起こします。

## △注意

走行前には、必ず各締め付け部にユルミが無いかを点検してください。  
→ 締め付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。

### 〈走行中〉

## △注意

キャリア使用時は法定速度を守り、急発進・急ハンドル・急ブレーキ等の過酷な運転は避け、悪路では徐行してください。  
→ キャリアや積載物が入る等、危険な状態に変化することがあります。やむを得ず、急ブレーキ等を行なった時は、速やかに停車し異常が無いことを確認した後で、走行してください。

## △注意

高速走行や強風時は、より多くの風圧がかかるため、十分ご注意ください。走行してください。

## △注意

走行中に屋根からキャリアや積載物のガタつき音等の異常音が聞こえた場合は、速やかに停車し、キャリア及び積載物の状態を確認してください。  
→ 「ビュービュー」という音はキャリアの風切り音ですので、異常音ではありません。

## △注意

キャリアの装着時及び荷物を積載している時は、車両の地上高が高くなるため、駐車場・高架等の高さ制限がある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

### 〈走行後〉

## △注意

初期ユルミが発生しますので、初回30km走行後には必ず各締め付け部を増し締めしてください。

## 保管方法・保守について

## △注意

- 本体・ネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、組立て時及び1ヵ月に一度は行なってください。
- キャリアを保管する場合はきれいに清掃し、防錆処理を行なった上で、湿気のない場所で保管してください。
- キャリアの塗装及びコーティングにキズ等が付きましたら、その部分からサビが発生することがありますので、タッチペイント等で補修してください。

## 事故が起きた時は

製品の欠陥などにより万一事故が発生したときは、速やかに販売店または当社までご連絡ください。事故対応をスムーズに行なうためにも、お客様に以下のことをご用意していただく必要があります。

- (1) 事故製品の確保……事故発生時のままの状態のもの(製品を「壊したりしない」)
- (2) 損害の内容……損害を受けた荷物、また、損害を証明できるもの
- (3) 事故発生状況……日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、死亡届)のほかに「何かがどうなったか」

お客様の買った組立て・取り付け・使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。